







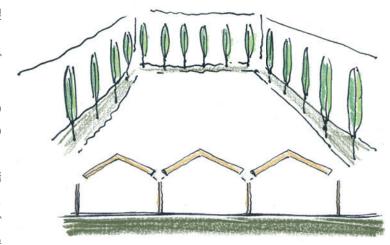
ダヴィネス社では、持続可能性を、クライアント、サプライヤー、ディストリビューター、 環境、次世代に対する責任を問いかけるものとして捉えています。この考え方は互いになく てはならない 「相互依存」 の原則を重要な価値観とする企業を結びつける B コーポレーション

運動の礎でもあり、ダヴィネス社は2016年からBコーポレーションの一員になっています。Bコーポレーション企業はビジネスを、人や環境、ひいては地球全体に幸福をもたらすポジティブな力と捉えています。ビジネスは、企業が製品・サービス、意思決定、利益を通じてあらゆる面にメリットをもたらし、社員、環境、地域社会に及ぼすポジティブな影響を最大化するエコシステムなのです。

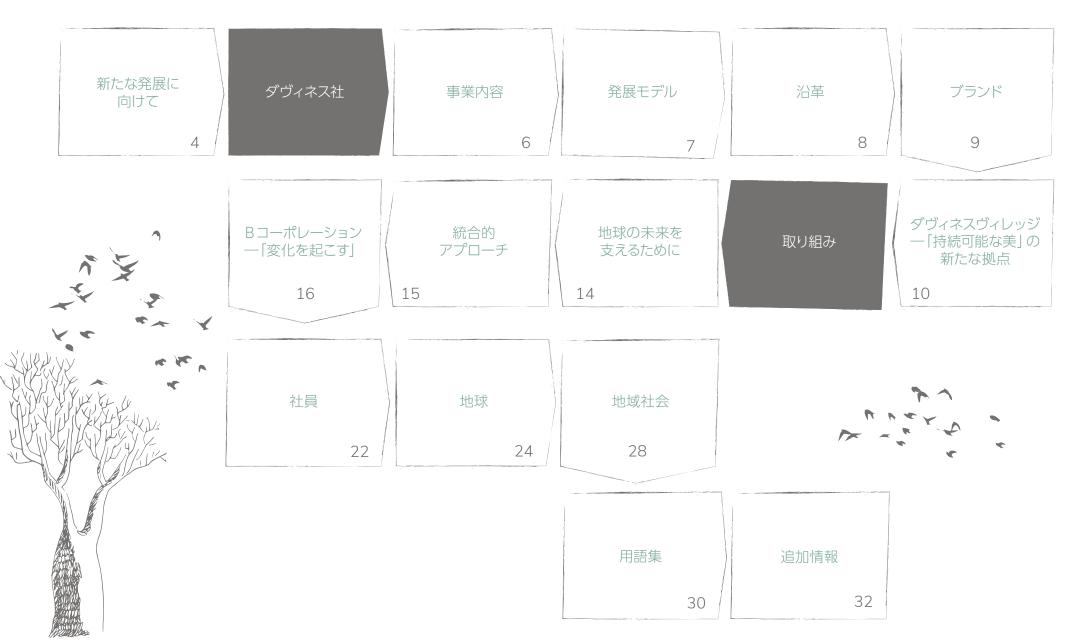
この理想を実現する取り組みとして、ダヴィネス社はこの 数年間にわたり各企業や地方自治体、業界団体、個人の 方々の協力の下、持続可能な活動に力を入れてきました。 目標はあらゆる人々が恩恵を受けられる統合システムを構 築することです。そこで、この理念の種を育てていくこと を目指し、独自のプロジェクトを始動しました。それがダ ヴィネス社のコンセプト全体を視覚的に表現した新社屋 「ダヴィネスヴィレッジ」の建設です。 ファミリー企業であるダヴィネス社は、職場環境を風通しがよく協調性があり、その上に誠 実で本物の関係が築かれている「家庭的」な環境にすることを目指してきました。ダヴィネ スヴィレッジでも、そうした感覚を大切にしていきます。ダヴィネスヴィレッジは、コミュ

ニティに開かれた場所として、持続可能性・美・革新・幸福を融合させて私たちの価値観を表現し、それを人々と共有する場です。また知識と経験が調和し、進取の気性と卓越性の飽くなき追求によってダヴィネス社の理想を具体化する空間です。

緑豊かなダヴィネスヴィレッジには庭園や温室、菜園があります。これらは私たちの仕事にインスピレーションをもたらすと同時に守りたいと願っているものです。ダヴィネス社の製品が発信しているのは環境に対する責任です。つまり当社の製品は、世界に対する理念の発信者であるとともに、研究と熱意の賜物であり、「持続可能な美」を追求した成果なのです。まさにダヴィネス社の新社屋と同じです。



madeo Hein







「持続可能な美」という価値観によってダヴィネス社の一体感は、かつてないほど高まっています。 この最新報告書からお分かりいただけるように、ダヴィネス社と地域社会は指標の改善に一丸となって 取り組んでいます。

持続可能な発展に対して、より体系的・文化的にアプローチした結果、ダヴィネス社はインフルエンサーとして、 また、コミュニティ、業界、クライアントにとっての規範モデルとして受け止められることが多くなっています。 そうした評価が大きな力となり、確信をもって前進を続けています。

今後もダヴィネス社は努力を倍加し、循環と持続可能性の問題に一層力を入れて取り組んでいきます。 新社屋ダヴィネスヴィレッジから始まる持続可能な発展に向けた今後の前進の可能性について言えば、 まずダヴィネスヴィレッジそのものがすでに目覚ましい成果を挙げています。

ダヴィネスヴィレッジはダヴィネス社の存在意義を象徴する場所であるといえるでしょう。

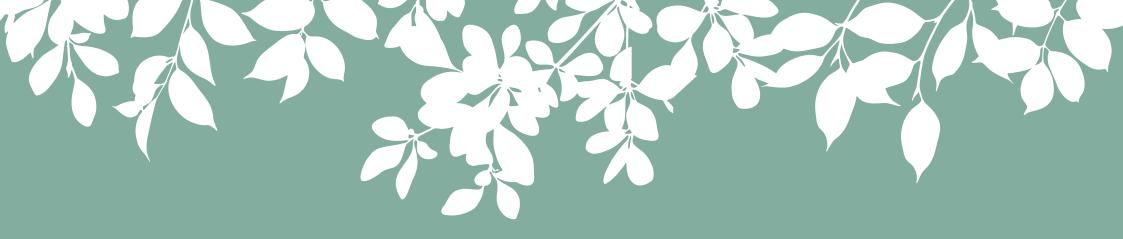
ただ、持続可能な発展に向けた道筋には解決しなければならない問題が山積しており、なすべきことは たくさんあります。私たちは弛まぬ努力を誓うとともに、この問題に関してこれまでに蓄積してきたノウハウが近い将来、 大きな成果となって結実すると信じています。

皆様のご尽力に対し、心より感謝いたします。

会長 ダヴィデ・ボラッティ

Buseley)

ダヴィネス社の 理念と使命



"Being the best for the world, creators of good life for all, through beauty, ethics and sustainability."

「世界にとって最良の企業となり、 美と倫理と持続可能性を通じて すべての人々に豊かな生活を届けます」 取り組みの中には何度も繰り返しているうちに、あまり刺激的でなくなり、退屈なものになってしまうものもあります。しかし、ダヴィネス社のサステナビリティ報告書にそれは当てはまりません。本報告書は今回で3回目ですが、客観的な方法で取り組みを測定し、「世界にとって最良の企業となる」ために取り組んでいる活動をお伝えするという点で、ダヴィネス社にとっても刺激となる内容になっています。

ダヴィネス社がBコーポレーションの認証を受けることを決めたのと同時期に国連が持続可能な開発目標 (SDGs) を発表したことで、当グループのサステナビリティ活動を全面的に改善する道筋を確信をもって描くことができ、すべてのステークホルダーに奉仕するための新たな規範を設けることにつながりました。私たちの取り組みはまだ緒に就いたばかりですが、本報告書では、これまでに取り組んだ多くの課題において、すでに誇るべき成果を挙げているその理由をご紹介しています。こうした課題の中にはすでに固い決意をもって取り組みを進めてきた活動もあれば、当社が地域社会に及ぼす影響など、ごく最近になって力を入れ始めたものもあります。

本報告書の公表時期は偶然にもダヴィネスヴィレッジのオープンと一致しましたが、これまでダヴィネス社が大切にしてきた価値観を目に見える形にしたことで、これは特別なものとなりました。ダヴィネスヴィレッジは私たちの到着点ではありません。これを出発点として、これからも全力を尽くし、経済面、倫理面、持続可能性の面での成功を調和させる力を発揮して、この場所から模範企業として存在感を強め、長きにわたる繁栄という理想を追い求めてまいります。

最高経営責任者 兼 マネージングディレクター パオロ・ブラグッツィ



事業内容

key numbers

7

0

7

34_{創業年数}

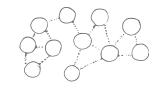


ロンドン

3 ブランド数



1 1 グループ 企業数



7



パルマ





デーフェンテル



メキシコシティ



香港

海外支社数



クライアント数34,000社超

571













100

処方数

99



Bコーポレーション 認証の取得スコア



+13.5%

売上高の 2016年度比 **2200**万



販売個数





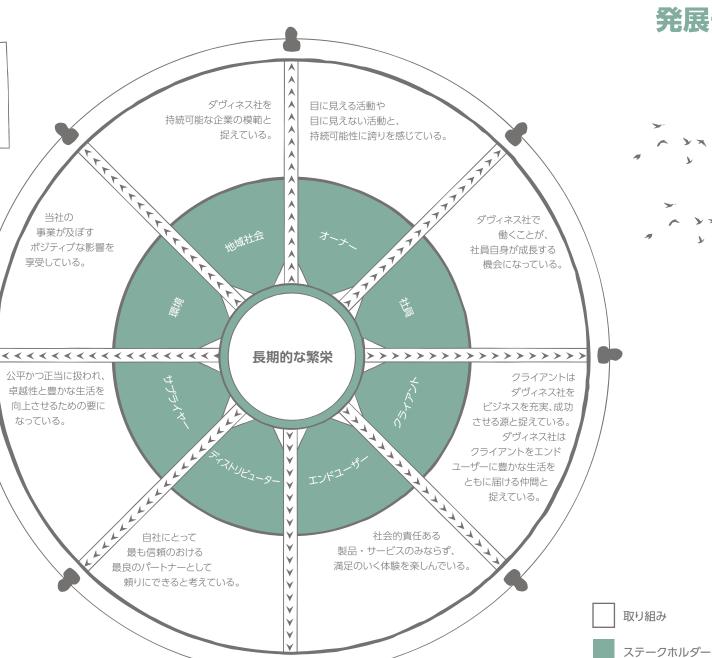




発展モデル

ダヴィネス社ではステークホルダーの ためになる具体的な取り組みをするこ とで、当社が「長く繁栄」 することを念 頭に、日々、事業に取り組んでいます。





沿革

1983年

ボラッティ・ファミリーが 開発と製造を行う化粧品ラボを 設立

1992年 ダヴィネス・ブランドで 製造・販売することを決定

1994年 海外での販売を開始

1996年 スキンケアブランド コンフォートゾーンの誕生

2003年 ヘルツォーク&ド・ムーロンが ダヴィネスの展示スタンドを設計

2004年 ニューヨーク支社を設立

2005年 「Carta Etica (カルタ・エティカ)」 を作成⁽¹⁾



2011年

「Packaging Research Charter」 を作成

2009年

「Charter for Sustainable Research! を作成。

第1回「Sustainable Beauty Day」を実施

2008年 坂茂がダヴィネスの 展示スタンドを設計

2007年

メキシコシティとロンドンに 支社を設立。

「Sustainable Beauty Manifesto」^② を作成

2006年

パリ支社を設立。

パルマ本社では電力を **再生可能**エネルギーに転換。

第1回、**二酸化炭素オフセット** プロジェクトを実施 2012年 コンフォートゾーンに 科学委員会を設立。

「Skin regimen. Health, beauty and longevity」を

2013年
オランダ、ドイツ、ベルギーに
支社を設立

2014年

第1回 「I Sustain Beauty」 キャンペーンを実施

スローフードとの コラボレーションを開始

2015_年 コンフォートゾーンが 新たな処方哲学 「サイエンスベースド・コンシャ ス・フォーミュラ™」⁽³⁾ を導入。 マッテオ・トゥンが

ダヴィネスヴィレッジを設計

2018年 **ダヴィネスヴィレッジ**を オープン。

スキンレギメンラインを/skin regimen/ブランドとして展開。

「New blossoming of the Carta Etica (新カルタ・エティカ) | を発表。

B Labが選定する [Best for the environment] を受賞。

2017年 マッテオ・トゥンがダヴィネスの 展示スタンドを設計

2016年

香港支社を設立。

ダヴィネスヴィレッジの 建設開始。

Bコーポレーションの認証を取得

(1) Carta Etica (倫理憲章)

職場環境の向上のために社員から上がった 価値観の共有を支援します。

(2) Sustainable Beauty Manifesto (美のマニフェスト)

「持続可能な美を作り出すために、私たちは 社員に対して、自分自身と自分が暮らす世界と 自分が大事に思うものを大切にするよう 求めていきます」

(3) コンフォートゾーンの 統合的アプローチと処方哲学

製品と施術とライフスタイルに関する アドバイスを統合した 科学的に高度なソリューションを提案します。 天然由来の原料にこだわった 革新的なシステムです。



ブランド

DAVINES GROUP

[comfort zone]



/skin regimen/

プロフェッショナル・スキンケア市場の専門ブランドコンフォート プロフェッショナル・ヘアケア市場の専門ブランド、ダヴィネスで ゾーンでは、肌は心身の状態を映す鏡だと考えています。ブランド の使命は、肌と心身の状態を整え、最先端の科学技術を駆使した ソリューションによって、精神的にも肉体的にも充実した持続可能 なライフスタイルを提供することです。

は、「持続可能性」と「美」の調和のとれた状態を「持続可能な美」と 呼んでいますが、持続可能な美のある暮らしが私たちの生活とその 周囲の世界をより良くすることにつながると考えています。

プロフェッショナルとリテール両方を対象とするスキンケア市場の 専門ブランド/skin regimen/では、人々が内側からも外側からも 力を得てしっかりと人生に立ち向かい、最高の自分を手に入れ、 何かを達成することにつながるような製品を考案しています。







ダヴィネスヴィレッジー「持続可能な美」の新たな拠点

2018年、77,000平方メートルの広さを誇るダヴィネスヴィレッジがパルマに誕生しました。この新社屋を設計したのはマッテオ・トゥンとルカ・コロンボの2人の建築家で、これまでダヴィネス社の推進力となっていた3つの価値観一美、持続可能性、幸福一を具現化しています。ダヴィデ・ボラッティ会長の夢であった新社屋にはオフィススペース、教育・研修エリア、研究開発ラボ、製造施設、倉庫のほか、ダヴィネスヴィレッジの神髄というべき大きな温室もあります。

インテリアデザインを手がけたのはモニカ・シニャニで、グリーンエリアは造園家のトマッソ・デル・ブオノとパオ・ゲイザーヴィッツが設計しました。

ダヴィネスヴィレッジ

持続可能な美の空間

先進エネルギーの持続可能性

無駄を減らし、あらゆる資源を節約して最適化する一その実現のために、ダヴィネスヴィレッジは人工照明の使用を最小限に抑えるように設計され、太陽光発電エネルギーと地熱利用装置を整備するとともに、あらゆる環境下のエネルギー消費を監視する通信・管理システムも備えています。

持続可能な建築技術

ダヴィネスヴィレッジの建設にあたっては、ガラスや木などの天然素材の利用のみならず、建築市場で最先端の持続可能な技術と建築ソリューションを求めました。さらに、光合成のプロセスを模したTXと呼ばれるセメントも使用しました。TXは細かな塵をしっかり捕まえて分解し、マイナスの影響を取り除くことができます。

斬新な製造プラント

化学物質を使わずに水蒸気でミキサーを消毒します。ダヴィネスヴィレッジの製造部門が先駆けて導入したシステムの一つです。画期的な最新プラントのおかげでプロセスの効率化が図られるとともに、環境への影響は低減しています。





有機廃棄物の循環

キッチンからでる食品廃棄物は庭園の肥料となりますが、堆肥を作る方法は従来よりもはるかに効率的なものです。ダヴィネスヴィレッジには、社内で出た有機廃棄物を乾燥させ、庭園の植物の養分として再利用させることができる装置を設置しています。

快適な空間

カフェテリア

ランチタイムには良質な食事を提供しています。ダヴィネス社では、毎日無料で新鮮な旬の材料を使った良質な食事を社員に提供しています。この食事は健康を増進し、地産地消を促進する食品ガイドラインに則ったものです。個人のニーズや好みを尊重し、食習慣が異なる方々もお選びいただけるようなメニューを揃えています。

理想的な職場環境

最高のアイデアは開放的な空間から生まれることも少なくありません。画期的な発想や意見交換を促すために、ダヴィネスヴィレッジには我が家にいるような気分でミーティングができる空間を屋内外に設けています。ダヴィネス社では新たに採用した「スマートワーク (働き方改革)」が推進する理念に則り、業務を自己管理する能力を強化しており、勤怠管理のタイムカードさえも廃止しています。最初に対象となったのは内勤者ですが、今後、製造および梱包部門の社員にも拡大していきます。

景観を楽しめる社屋

どこにいても周囲を取り囲む自然を眺めることができます。ダヴィネスヴィレッジでは、あらゆるワークエリアから緑豊かな景観を楽しむことができます。各オフィスの設計には騒音を低減する画期的な資材を使い、ガラスを多用することで、人に優しい自然光を取り入れられるようにしています。



地域社会に開かれた社屋

人々を迎える空間

ようこそ、ここは皆さまにとっての「我が家」でもあります。「我が家」というコンセプトを基に作られたダヴィネスヴィレッジは、イタリアの農村地帯の典型的な中庭のイメージを再解釈し、クライアントやサプライヤー、ディストリビューター、地域社会の方々にオフィスを訪れていただき、敷地内の庭を散策しながら持続可能な美の体験をお楽しみいただけるようになっています。

教育・研修エリア

卓越性を形にすることは、まさにダヴィネス社の中心で活発に行われています。ダヴィネスヴィレッジにはダヴィネスとコンフォートゾーンのアカデミーがそれぞれあり、ヘアドレッサーとセラピストの育成に力を入れています。

交流エリア

ダヴィネスヴィレッジでお会いしましょう。ダヴィネス社の新社屋は、ダヴィネスの価値観を象徴する空間に地域社会の方々をお招きし、イベントや祝賀会ができるように設計されています。 もちろんパーティの時も!



豊富な緑地

敷地内のあちこちに庭園があり、温室と植物園も1カ所ずつあります。ダヴィネスヴィレッジの敷地の80パーセントが緑地です。

オープンエアの研究開発ラボ

ダヴィネスヴィレッジの庭園には薬用植物や芳香性植物がたくさん栽培されており、研究開発 ラボが処方のための天然成分のサンプリングやテストに利用しています。

教育のための美

36,000平方メートルの庭園を訪れると、生物多様性の重要性やダヴィネス社の製品に使用されている天然成分の起源を理解することができます。



地球の未来を支えるために

国連 (UN) が持続可能な開発のための2030アジェンダを採択し、世界に向けて発表した際、ダヴィネス社はすぐに反応しました。持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に貢献するため、当社の戦略にこれを盛り込むことを決め、その成果はこのサステナビリティ報告書でご覧いただけます。

ストックホルム・レジリエンス・センターは、SDGs を表す新たなモデルを提案しています。この モデルでは、目標を順序立てて整理するにあたり、経済と社会がどの程度、生物圏の絶対不可 欠な要素であるかに焦点を当て、社会・金融・生態系の発達に向けたセクター別アプローチに基づく伝統的なパラダイムの克服を確認することができます。2017年、この新たな認識に基づきダヴィネス社は、当社の活動やプロジェクトの成功がSDGsの達成に貢献する取り組みに引き続き尽力しました。また、2018年についても、具体的な目標を定め、選別したSDGsに重点的に取り組むことを決定しました。



統合的アプローチ



目標2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な 農業を促進する

目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

目標4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の 機会を促進する

目標5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

目標6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

目標7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギー へのアクセスを確保する

目標8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的 な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を 促進する

目標9. 強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化 の促進及びイノベーションの推進を図る

目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する

目標11. 包摂的で安全かつ強靱 (レジリエント) で持続可能な都市及び人間居 住を実現する

目標12. 持続可能な牛産消費形態を確保する

目標13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる*

目標14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で 利用する

目標15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林 の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生 物多様性の損失を阻止する

目標16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナー シップを活性化する



地球

ダヴィネス社では、製品が構想段階から 製造、サプライチェーンに至る 全サイクルにおいて

環境に及ぼす影響を測定しています。 環境影響を最小限に抑えるため、 利用可能な資源の保護と最適化、 排出量の低減、

廃棄物産出量の抑制に向けて 努力しています。





社員

ダヴィネス社では、パルマ本社をはじめ 各国の支社の社員に対して 社会的な責任を果たすため、多様性と 包摂性、男女平等、質の高い生活、 プロフェッショナルとしての成長を 促進しています。

当社が推進した各取り組みについては、 今後の改善のために 測定を行っています。



地域社会

私たちは、地域社会と 国際社会に及ぼす社会的影響を 認識しています。そのため、 社会および環境に関する基準に従って

パートナー企業を選定し、 結束して地域のプロジェクトを 活性化させ、現地の取り組みを 支援しています。

私たちの取り組みは透明性が高く 測定可能で、継続的な改善を 目指しています。



Bコーポレーション —「変化を起こす」

ダヴィネス社にとってBコーポレーション認証企業であるということは、ビジネスにおける成功を再定義し、人と環境に良い影響を及ぼしつつ事業価値を見出すことです。2016年に認証を受け ましたが、そのことはダヴィネス社にとってのゴールではなく、次々と新プロジェクトを実施していることから分かるように、継続的な改善に向けた大きな一歩となりました。

写いになくてはならない [相互依存] 関係の構築

私たちはみな相互に依存しており、一様に将来の世代に責任を負っています。このことを踏まえて3年前、持続可能な特性を詳細に把握することを目的に、サプライヤーの環境面および社会面で のパフォーマンスを調査し、マッピングしました。その結果をもとに、パートナー選定基準の見直しを行いました。

2016年、更に、サプライヤーに対してBコーポレーションのアヤスメント基準に則って白社を測定し、事業活動と地球の両方に最適なソリューションを考案するパートナーシップ・プロジェクトを 促進するよう働きかけました。

商品の出荷に使用するパレットのサプライヤーであるイタリアの企業、パーム社(Palm S.P.A)は、両企業の目標を達成した模範的な事例です。パーム社は2017年にBコーポレーションの認証を 取得し、ダヴィネス社と協力して、持続可能性が高い新型のパレットを設計・製造しました。企業とサプライヤー間の良い意味での相互依存の具体例です。

ディストリビューターとの持続可能性の構築

ダヴィネス社はディストリビューターの選定にあたって、常に価値観の共通性も評価してきました。2017年、この理念の強化を決めた当社は、ディストリビュー ターがいずれBコーポレーションの認証を取得することを期待し、Bコーポレーションのアセスメント基準で自社を測定するよう推奨しました。この目的を支援 するため、当社は、自らの体験に基づき優先度の高い2つの活動を提案しました。その一つが**再生可能エネルギー**を利用した電力の供給、もう一つが**温室** 効果ガス排出の相殺です。

現在、すでに成果は出ています。スウェーデンのクラフトへアケア (Kraft Haircare)は、Bコーポレーションの認証を受けたダヴィネス初のディストリ ビューターです。

社員のボランティア活動を倍増するユニークな制度

就業時間内に行うボランティア活動は勤務とみなされ給与が支払われます。これはダヴィネス社全員に適用されるルールで、1年間に4就業日を上限としてボランティア団体に参加することができますが、その際各社員は、活動に従事した同じ日数だけ自らの休暇も使用して、ボランティア活動に従事することとなっています。つまりダヴィネス社は地域社会のボランティア活動により一層貢献できるのです。2017年に始まったこの「4+4」プロジェクトにより、社員もまた深く地域と関われ、職場とは違う経験をできるというわけです。

「ダヴィネスケア」

現在、ダヴィネス社の社員が支払う子どもの教科書代やジムの会費、住宅ローンの利子は払い戻しを受けることができます。2017年2月、ダヴィネス社は、社員の購買力を支援する社内プラットフォームを立ち上げ、1人年間500ユーロ(65,000円)をこのプログラムが対象とするサービスの利用に配分しています。対象となるのは教育費から介護費用、医療費、文化的活動費、余暇の費用、住宅ローン、個人年金まで多岐に渡ります。

「スマートワーク (働き方改革)」

スマートワークによって仕事の質が高まり、ワークライフバランスが図られます。それがスマートワークのメリットの一つです。この働き方改革は、在宅勤務などの 「リモートワーク」が可能な パルマ本社の全社員に対してダヴィネス社が組織的に推進している働き方モデルです。

2017年に社内8つの部門で行った第1回の試験運用が好評だったことを受け、スマートワークは全社員の70パーセント余りを対象にダヴィネスヴィレッジにて正式に実施される予定です。社員とその権限に大きな柔軟性を持たせるという意味で、当社にとってこれは信頼への投資といえます。

スマートワークは、仕事をいつ、どこで行うかの裁量を個人に任せる新しい働き方を促進するものです。この働き方は実際の移動が減るという点で、環境にもメリットがあります。

仕事と生活の充実を謳う「Carta Etica (カルタ・エティカ)」

あらゆる人のアイデアに耳を傾け、行動に関する新しい考え方と方向性を見いだす一ダヴィネス社のこの意図を踏まえ、2017年、パルマ本社と、海外支社で働く社員 300名の意見を集め、社員の幸福を追求した職場環境を一緒に作り上げました。

この意欲的なプロジェクトの成果については、「Carta Etica. The new blossoming (新カルタ・エティカ)」にまとめられ、当社が成長のための道筋として 選択した3つの価値理念 (持続可能性、包摂性、革新性) に関する新たな価値観について発信しています。

Bコーポレーション事例 - ポーランドのディストリビューターの例

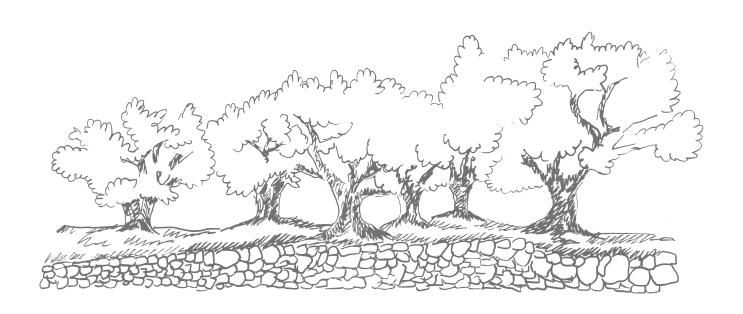
個人の選択が及ぼす影響を喚起するため、ポーランドのディストリビューターは、ヘアドレッサー420人の賛同を得て、エンドユーザーからBコーポレーションの価値観をもとにプロジェクトを 募集しました。257件のアイデアが集まり、そのうち3件が選出され、資金提供を受けました。

優勝したプロジェクトは、誰もが平等に医療サービスを受けられるようにしようというもので、2位は高齢者が受ける制約について認識を高めるもの、3位は経済的に困窮している子どもを対 象に気軽な外遊びの機会を提供しようというものでした。

イタリアで発足したスローフードプレシディオ

イタリア北西部海岸の町、クエルチェタノでは、自然遺産のオリーブの木をSlow Food Foundation for Biodiversity Onlus (スローフード財団。生物多様性を推進する非営利団体)の協力 の下、600店のヘアサロンが絶滅の危機から救いました。その後もイタリア固有の希少品種のオリーブの木に対する認識を高め、保護活動を広めています。

2017年、ヘアサロンとそのクライアントがダヴィネス社のキャンペーン「A Garrison of Sustainable Beauty」に参加したことで、それまでなかった新たな保護団体の発足が実現し、生物多様 性の大切さを訴えることに貢献しています。





世界各国からゲストがパルマに集結

ヘアドレッサーとセラピストの方々がいなければダヴィネスヴィレッジは実現しなかったでしょう。こうした方々がダヴィネス社の製品に込められた価値観を共有したおかげで持続可能な美の 新たな拠点が誕生しました。

2018年に当社がパルマで開催した重要な国際イベントが新社屋の落成と重なったのは偶然ではありません。

世界各国のヘアドレッサーがダヴィネス・ワールドワイド・ヘアツアー (WWHT) に集まり、国内外のセラピストもコンフォートゾーン トライブイベント兼エクスペリエンスツアーに集結し、ダヴイネス社の歴史的瞬間に立ち会いました。

北米で最も重要なプロジェクト「グリーンインセンティブ」

世界各国のダヴィネス支社の中で北米支社は、初めて「**グリーンインセンティブ**」プロジェクトに着手した支社です。4年間のこのプロジェクトの担い手である「グリーンサークルサロン」では、サロンから出る廃棄物をリサイクル資源として経済に還元できるように事業を運営しています。

2017年 4月の「The Sustainable Beauty」月間にダヴィネス北米支社は、この重要プロジェクトへの参加を後押しするために、参加したサロンに対して経済的なメリットを与えることで評価することを決めました。各参加サロンはダヴィネス製品を無料で提供され、プログラムへの参加費用を埋め合わせることができました。

「グリーンインセンティブ」のおかげで、米国では新たに62のサロンがこの運動に参加し、リサイクル・リユース・リカバリーの価値観を支持しています。

持続可能性と成長の両立

ダヴィネス社の財務面での成功は売上高の順調な伸びとして表れ、2017年には1億2700万ユーロ(164億円)に達しました。長期的な繁栄を目指す当社の ビジネスモデルはその有効性を証明していますが、それは数字だけに留まらず、素晴らしい成果を挙げています。

ダヴィネス社が財務的に順調に伸びていることは、人と社会と環境に良い影響をもたらすと同時に利益も上げられる企業経営が可能であることを証明しており、成功に導く優れたモデルといえるでしょう。



Bコーポレーションの概略

2017年「最優秀サステナビリティ報告書賞」

2017年11月、Bコーポレーション認証企業がミラノに集まりましたがそのイベントで思いがけない出来事を体験しました。

イタリアのBコーポレーション認証企業の数は2016年から倍増しており、欧州におけるこの運動のリーダーと称されています。ダヴィネス社は2017年イタリア最優秀賞の授賞式において、「最優秀サステナビリティ報告書賞」を授与されました。

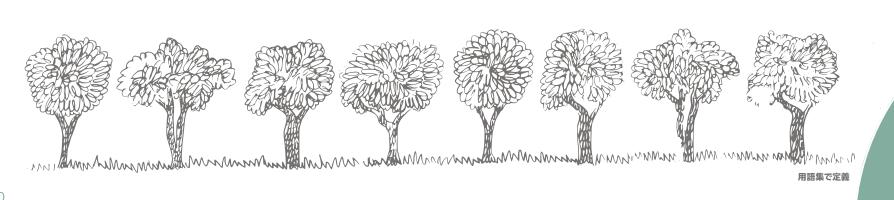
アートに見る持続可能性「Terzo Giorno (サードディ)」

コンテンポラリーアートの視点から環境の持続可能性を考えてみる一ダヴィネス社の会長ダヴィデ・ボラッティの発想と、パルマ市、及び地元企業の協力の下、2018年4月に展覧会「Terzo Giorno (サードデイ)」が開催されました。

天地創造の3日目-サードデイ、生命の出現一から始まる展覧会は、40名の国際的なアーティストの作品115点の直接の語りを通じて、より持続可能なライフスタイルの必要性を来場者に

問いかけるものでした。「Terzo Giorno (サードデイ)」は、「有益性」をテーマにしたイタリア初の展覧会で、収益金の一部は「Km Verde (グリーンキロメートル)」プロジェクトに充てられました。

これは行政と民間それぞれの団体の協力が具体的な相乗効果を生んだ事例です。



2018年「最優秀環境賞|

ダヴィネス社がBコーポレーションの認証アセスメントの結果、2018年「最優秀環境賞」が 授与されました。ダヴィネス社は、国際的に環境へのポジティブな影響が高く評価されたB コーポレーション、トップ 240 社の中の1社に選ばれました。



長期的に有益なプロジェクト [Km Verde (グリーンキロメートル)] プロジェクト

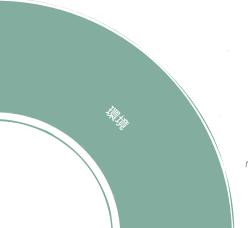
デ・ボラッティの発想から生まれた します。 もので、パルマ市、サステイナブル 開発財団、地元企業、国立機関が 協力しています。

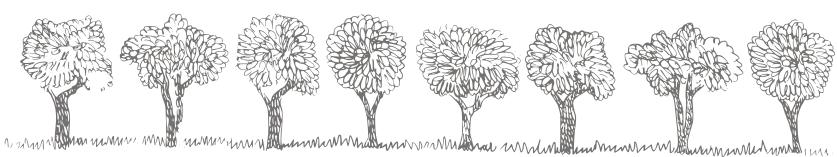
現在、開始に向けて準備が進められ 車の排気ガスによる大気汚染から 全長 11キロメートルのうち、ダヴィ このプロジェクトは、二酸化炭素の Km Verde (グリーンキロメートル) ているこのイタリア独自のプロジェ パルマを守るため、樹木を使って幹 ネスヴィレッジを起点とする最初の **排出を相殺し**、細かい塵の動きを抑 は、「サステイナブルビューティー」を クトは、ダヴィネス社の会長ダヴィ 線道路沿いに木材のフェンスを建設 300メートルについて試験的に建設 える樹木を選定したおかげで、景観、

を開始します。

生態系、環境のすべての面で有益な自治体の意思を象徴するものです。 ものとなります。

支援するという地元企業とパルマの









社員

2017年の成果

社員一人当たりの 平均研修日数



目標は達成しました。当社が過去3年間、社員の研修のために現在の職務と今後 のキャリアアップ支援投資を強化してきたことが証明されています。特に安全、 プロジェクト管理、管理職のソフトスキルの育成、語学に関する研修を頻繁に行っ ています。

当社では今後も更なる改善を目指して活動を計画していく予定です。





全新入社員が参加する研修で、 寛容な社風に対する意識を向上

目標は達成しました。革新性と独創性を支える職場環境を創出するために不可欠 な価値観一寛容な社風と多様性の受容一に関するテーマ別の研修コースを設定 し、全新入社員が参加しました。

当社はこの数年の間に急速に成長しているため、まず第一段階として新入社員に 対して集中的にこの研修を行い、今後、他の社員についても参加を拡大していく 見込みです。





新たな発展を迎える「Carta Etica (カルタ・エティカ)」 ブ() の作成に協力した社員の割合

目標は達成しました。イタリアと海外支社の両方で10日間の日程を定め、ダヴィ ネス社ほぼ全社員が協力しました。

コンサルタントの助言や提言を受けながら、参加者は当社の重要な価値を改め て定義し、「Carta Etica (カルタ・エティカ)」の新たな発展の土台を作り上げま した。

 \times

会社のボランティア活動に使われた





50% 増の目標は予定期間内に達成できませんでした。主な理由はプロジェク トの開始日が遅く、夏季休暇に近かったためでした。プロジェクトの開始には 3つの段階一計員から要望のあったプロジェクトや活動をプロモーションする 段階、プロジェクトを会社の指針に合わせ、全部署が協力する段階、プロジェ クトが始動する段階―が連続する複雑な体制が必要でした。 ダヴィネス社のボ ランティア活動では、入院中の子どものための活動など社会に関するものと、 緑地の再開発などの環境に関するものの両方に取り組みました。





ダヴィネス社による幸福度の指針

目標は達成しました。「Well-Fair (ウェルフェア) | プロジェクトを始動させ、 ワークライフバランスに寄与した結果、社員の幸福(ウェルビーイング)につなが りました。特に重要なのは「ダヴィネスケア」プラットフォームの立ち上げです。 これは試用期間を終了した全正社員に対して年間500(65,000円)ユーロを配 分し、各社員のより豊かな生活を支援するものです。









2017年のその他の指標



社員の男女比

62%



38% get



181

イタリア以外の 国籍の数



39 歳

平均年齡



3.7 年

平均勤続年数



職場におけるダヴィネスの価値観の実行方法



97%

成果連動型報酬を享受している 非管理職の社員の割合



73%

ダヴィネスケアを受けられる 社員の割合



49%

女性の管理職の割合

2018年の目標



スマートワークを希望し、 職務上可能な社員については、 月に4日間を上限として実施すること。



ダヴィネス社のボランティア活動に使う 就業時間数 (有給)を20%増やすこと。



パルマ本社と海外主要拠点において、 持続可能性に基づく目標を定める幹部の割合を 60%にすること。



幸福 (ウェルビーイング) をサポートする サービスを提供し、全社員の職場環境を改善すること。

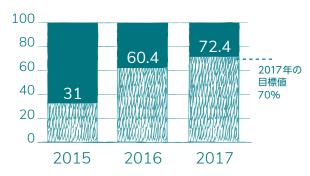
地球

2017年の成果

 \bigcirc

72.4% リサイクルまたは 回収した固形廃棄物の割合

リサイクルまたは回収した固形廃棄物の割合



∭ リサイクルまたは回収した廃棄物の割合

■ リサイクルまたは回収しなかった廃棄物の割合

廃棄物産出量の削減を続け、廃棄物の分別を最適化したことで、目標を上回りま した。

指摘すべき重要な点は、リサイクルまたは回収が不可とされる廃棄物の18%が実際には廃棄物発電の対象となることです。これにより**欧州の1世帯当たり2.4年分**に相当する電力と熱量を生成することができます。したがって、廃棄物発電プロセスに使われる廃棄物も合算すると、リサイクルまたは回収された固形廃棄物の割合は合計で90.4%になります。



海外支社で電力(Kwh)に使用している 再生可能エネルギーの割合

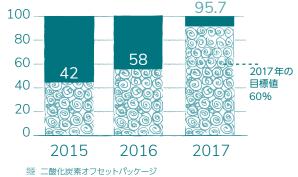
支社の6支社のうち4支社が電力に**再生可能エネルギー**を利用していますが、残り2支社については、現地において再生可能エネルギーの供給を受ける上で困難に直面しています。ダヴィネス社では全ての支社が、2006年から電力の100%を再生可能エネルギーによって調達しているパルマ本社と足並みを揃えられるように取り組んでいます。

(1)

96%

二酸化炭素オフセットパッケージの製品が 売上高に占める割合

二酸化炭素オフセットパッケージの製品が 売上高に占める割合



■ 二酸化炭素オフセットパッケージ以外のパッケージ

2016年に未達だった目標値を1年後に大きく上回りました。その要因は、一部の例外を除き、3つのブランド全てのラインで開始した、直接または、間接的な温室効果ガス排出量に一次包装および二次包装のライフサイクルを考慮し、改善したことによります。

(

•

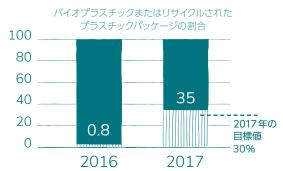
「リサイクル活動の推進」の強化

パッケージのリサイクル性を推進するために、以下を目的として「パッケージ・リサーチ・カード」をより具体的なものに改善しました。

- 最後の一滴まで製品が使えるようなパッケージを考案し、リサイクルの効率を損なう恐れのある製品残留物の低減を確実にすること。
- パッケージが複雑になり、リサイクル性が低減するような余分なプロセスを 回避するため、単一の原料から作るパッケージを設計すること。
- 部品が正しくリサイクル集積されるよう、パッケージの構成部品を容易に分別できるようにした。

O O O

35% バイオプラスチックまたは リサイクルされたプラスチックパッケージの割合



∭∭ バイオプラスチックまたはリサイクルされたプラスチックパッケージ

■ バージン原料のプラスチックパッケージ

多くのラインをバージン原料のプラスチックパッケージから**バイオプラスチック** または**リサイクル**されたプラスチックのパッケージに変更したため、目標値を 上回りました。この変更については、製品の性能と見た目の美しさの観点から 分析をした上で、技術上の問題がなかった製品全てに適用されました。



目標達成/期間内にプロジェクト完了



目標未達/期間内にプロジェクト未完



循環型プロジェクト



海外支社のデータ



パルマ本社のデータ

用語集で定義



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS RELEVANT FOR THIS AREA











2017年の成果





SLCAの分析を適用した新ラインの発売・再発売

目標は達成しました。SLCA (持続可能なライフサイクルアセスメント) 分析を適用 した製品の割合は75% (売上高ベース) になりました。

SLCA分析を今後も新製品の発売に適用し、製品のプラスの影響を高めていきま

SLCA分析を適用した製品 (請求書ベース) の割合



- ₩ SLCA分析を適用した割合
- SLCA分析を適用しなかった割合

2017年のその他の指標



製品1kgを製造するために



0.12 Kg

産出される 固形廃棄物の量









 $0.0065 \, \text{m}^3$

製造過程で使用される 水の量



0.02 Kg

排出される 直接的・間接的 温室効果ガスの量



100%

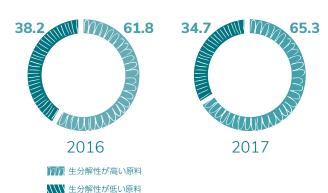
再生可能エネルギーを 利用した 電力供給の割合



2017年のその他の指標

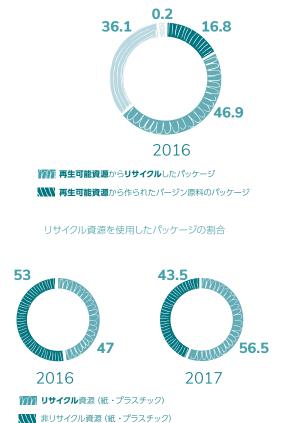
ダヴィネス社が購入・使用している原料

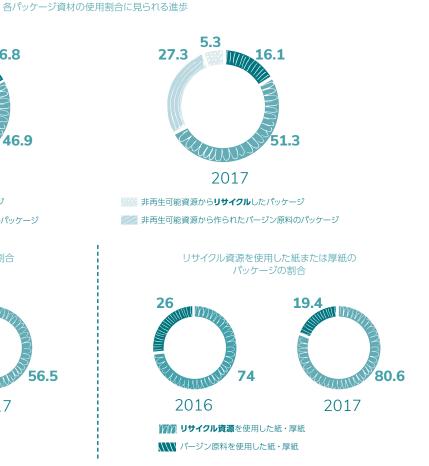
生分解性が高い原料の割合 (OECDの301試験法)













SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS RELEVANT FOR THIS AREA











2017年のその他の指標



ダヴィネス社の「カーボンフットプリント」

ダヴィネス社はこの3年間、「カーボンフットプリント (二酸化炭素排出量)」のデータを公表してきました。これは、当社が及ぼすマイナスの影響の削減とプラスの影響の向上に関して自らの活動を監視する取り組みを示すものです。

この点に関し、当社では次のような活動をしています。

- 直接的、または間接的な温室効果ガス排出量の削減。これらを生成する行為 および製品を可能な限り回避する。
- よりクリーンな方法を目指し、製造プロセスを変更する。
- 「炭素クレジット」を購入して排出量を相殺する。

ダヴィネス社はこれまでも事業活動から発生する排出量を相殺してきましたが、今後もそれを継続・強化していくアクションプランも策定しています。2017年からダヴィネス社の**製造拠点**は「カーボンニュートラル」になっており、これは全体的な影響をゼロにしようというダヴィネス社の意志を表した重要な一歩です。



ダヴィネス製品の責任あるデザイン

ダヴィネス社は、ナチュラルテックシャンプーのパッケージの取り組みにより、「環境的に持続可能なパッケージ」であることが評価され、2017年 CONAI (全国パッケージコンソーシアム) 賞を受賞しました。

当社はバージン原料のプラスチック容器を100% リサイクルされたプラスチック容器に変えて製品の全体的な影響を低減した結果、温室効果ガスの排出量は30%、エネルギー使用量は20%、水の使用量は40%削減することができました。



温室効果ガスの排出	全体的な影響 (kg)
1 会社所有の車両・製造プロセスでの燃焼および 「漏えい」 に分類されるその他の排出	709,905
2 購入した電力	0 -
3 製品の製造と購入した原料に使われるエネルギー、会社所有ではない車両の燃料、出張に伴う燃料、廃棄物の 廃棄	2,757,400
合計	3,467,305

2018年の目標



二酸化炭素オフセットパッケージの製品が売上に占める割合を100%にすること。



廃棄物発電プロセスに使われる廃棄物も含め、 リサイクルまたは回収した固形廃棄物の割合を 95%にすること。



水、特に海の保護を促進するプロジェクトを 始動すること。



ダヴィネスヴィレッジでは 使い捨てプラスチックの使用を禁止すること。



地域社会

2017年の成果





「KM Verde (グリーンキロメートル)」プロジェクトの 実施に向けた準備活動の開始

KM Verde (グリーンキロメートル) プロジェクトの実施に向けた活動が行われ、 将来的なビジネスパートナーや官公庁・団体パートナーを特定するマッピングを行 いました。

その後、KM Verde (グリーンキロメートル) プロジェクトを促進し、認識を高め、 明らかになったその価値を発信するキャンペーンをプロジェクトの全ステークホル ダーを対象に実施しました。

最後にガバナンス構造に関する分析を実施し、プロジェクトの開始と同時に誰が どのように管理するかを明らかにしました。





持続可能性の文化とBコーポレーションの理念を共有・促進するネットワーク の構築

2016年からダヴィネス社は持続可能な美の理念だけでなく、Bコーポレーション の理念に見られる価値観も支援しています。同じ理念を掲げる他の認証企業とも 協力して、可能な限り常にこの価値観の推進に努めています。

価値観の推進に集中的かつ恒常的に取り組んでいることが、当社のサプライヤー による認証取得につながりました。Bコーポレーションのコミュニティはさらに充 実し、インスピレーションの源となる価値観の発信にも貢献しています。





持続可能な美の促進に向け、 地域別パートナーシップを統合

展覧会「Il Terzo Giorno (サードデイ)」の開催をきっかけに、行政と民間それぞ れの団体が持続可能な美の理念を促進し、それに伴う環境価値と人的価値をさま ざまなところから生み出すために協力するようになりました。さらに、そうした流 れを汲んだパートナーシップによって、Km Verde (グリーンキロメートル) プロジ ェクトの既存パートナーシップの統合が実現しました。展覧会の収益金の一部は、 現在、準備を進めているこのプロジェクトの実現に充てられています。





「社会面および環境面における自己評価」を実施した

目標値 70%は未達でした。その要因は「社会面および環境面においての自己評 **価**|を依頼する対象を、不定期に利用するサプライヤーにまで拡大したためです。 こうしたサプライヤーと社会・環境面で価値を共有し、協力関係を構築すること は決して容易ではなく、時間も要します。

2017年のその他の指標

慈善団体との関わり





ダヴィネス社が支援する 現地の団体の数





現地の団体と協力して開発した プロジェクトの数





毛185,931 社会・環境のために託された 寄付金の額

(2.400万円)



持続可能なソリューションを一緒に見いだす

ネパールでのプロジェクトの実施に続いて、コンフォートゾーンは、民間非営利 団体のチャリティーウォーターと連携し、インドのラジャスターン州に今後約2年 間で450のタンクを建設するプロジェクトを支援しています。このプロジェクト は州内の砂漠での水不足を解消する有効な解決策として、地域住民 2700人に 飲料水を確保するものです。







(X) 目標未達/期間内にプロジェクト未完



海外支社のデータ



パルマ本社のデータ







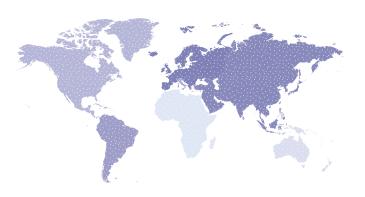


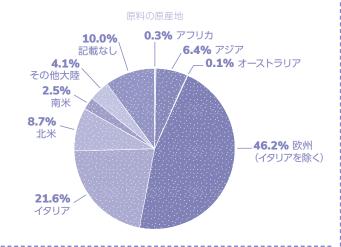
2017年のその他の指標



ダヴィネス社が購入・使用している原料の

は、追跡が可能な生産者から入手しています。





ダヴィネス社の購売額の71%を占めるサプライヤーについて

品質認証または品質管理システムがある サプライヤーの割合

パルマ本社から200キロ以内にある サプライヤーの割合

恵まれない状況にある集団に 法規定を上回る雇用機会を提供している サプライヤーの割合

自社の原料、製品、サービスに関して、 環境または社会配慮基準の認証を受けている サプライヤーの割合

環境と社会にプラスの影響を与えるプロジェクトに 従事しているサプライヤーの割合

過去2年間に未分別の廃棄物の産出を 10%以上削減したサプライヤーの割合

使用するエネルギー全体に占める 再生可能エネルギーの割合が 10%以上であるサプライヤーの割合

飲料水の使用を削減するシステムを備えている サプライヤーの割合

2018年の目標



サプライヤーに対して再生可能エネルギーを利用した 電力の使用を促進すること。



ディストリビューターとサプライヤーに Bコーポレーションの文化を促進すること。



環境、社会、文化における持続可能性を支援するために、 地域に良い影響をもたらし、 再生させるプランを策定する能力を高めること。



遺伝子組換技術を用いた自然原料

特定の用途においての性能を高めるために合成試薬で処理した自然由来の成分を指します。 したがって、**エコサート/コスモス基準**に準拠していません。

エコサート/コスモス基準

製品のナチュラル/オーガニック認証に必要な要件を定めた基準です。エコサート認証は原料が自然成分 95%以上、合成成分 5%以下の製品に発行されます。当該認証機関が承認した化学的または物理的プロセスによって得られた原料は自然由来、当該認証機関が公表している「ポジティブリスト」に記載されている原料は合成由来と定義されています。

オーガニック成分

有機農業で栽培された原料を指します。

カーボンフットプリント

製品、組織またはサービスの提供に伴う直接または間接的な温室効果ガスの排出の測定を指します。

合成原料

特定の用途での性能を高めるために合成試薬で処理した自然由来の原料を指します。したがって、**エコサート**/コスモス基準に準拠していません。

再生可能資源から得られる原材料

天然資源から得られる原材料を指し、時間をかけて再生するものです。エネルギーの生成と 原料の製造の両方に用いられ、石油は使用しません。

自然成分

オーガニック/ナチュラル化粧品を規制する**エコサート/コスモス基準**に準拠した自然由来の原料です。また、遺伝子組換技術を使った自然由来の原料も含みます。

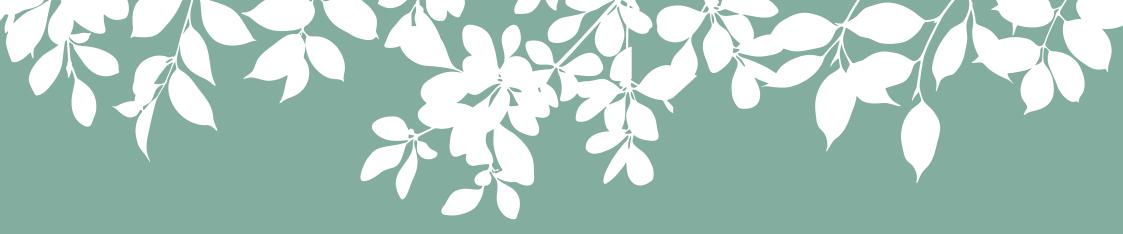
循環型プロジェクト

循環型経済の原則に基づいて構築されたプロジェクトを指します。循環型経済は「資源の投入 -生産-廃棄」の理論に基づく線形モデルとは対極を成すものです。循環型プロジェクトは次の3つの原則に基づいています。

- 1. 再生不能な原料の使用と再生可能資源の流れを管理して自然資本を保全し、大切にする
- 2. 製品、部品および原料の循環を最適化し、その使用の効率性を最大限高めること。
- 3. 自社の事業活動から生じるマイナスの影響を特定・抑制し、システムの効率性を促進すること。

ダヴィネス社の「グリーンインセンティブ」

ダヴィネス社のクライアントに対して環境および社会面での持続可能性を向上させるよう働きかけることを目指したプロジェクトです。参加したクライアントに対しては経済的なメリットを与えて評価しています。



ダヴィネス社のサプライヤーによる自己評価

ダヴィネス社がサプライヤーを社会・環境面においての評価・選定するためのツールです。サプライヤーは環境影響、社会的影響、改善継続の3つの主要分野について自社を測定し、自己評価をまとめます。

ダヴィネス社のボランティア活動 (4+4) プロジェクト

パルマ本社では、社員は1年間に最大4就業日をボランティア活動に充てることができます。 ただし、ボランティア活動に従事した同じ日数だけ自らの休暇を使用して、ボランティア活動に 従事することが条件です。

直接的、または間接的な温室効果ガスの排出

温室効果ガスプロトコルでは、事業者の温室効果ガスの排出を3つに分類しています。

- 1. 燃焼のプロセスおよび会社所有の車両から主に生じる直接排出
- 2. 事業者が購入した非再生可能エネルギーによる電力の生成から生じる間接排出
- 3. 使用する原材料の抽出、生産および輸送ならびに会社所有以外の車両での従業員の移動から主に生じる間接排出。ただし、この算定については任意です。

二酸化炭素の相殺

直接的、または間接的な温室効果ガスの排出量を相殺することを目指した活動をいい、一般的には植樹によって二酸化炭素等を吸収します。

バイオ素材のプラスチック

コーンスターチ、セルロース、グルコース、植物油など、再生可能資源の原料で製造されたプラスチックを指し、リサイクル可能型や生分解可能型などの種類があります。ダヴィネス社ではサトウキビの加工から非生分解性のバイオ素材のプラスチックを使用しています。

廃棄物の回収

廃棄物を役立てるための活動です。バージン原料の代わりに使用することで、植物または経済 全般の中で特定の役割を果たします。

廃棄物のリサイクル

廃棄物を回収した上で処理し、生成物、原料、物質を取り出して本来の機能または別の形で 再利用します。したがって、これは原料の回収であってエネルギーの回収ではありません。

OECD の 301 試験法

原料の生分解性を28日間モニターします。分解度が60%を上回る場合、「易生分解性」に分類されます。

SLCA (持続可能なライフサイクルアセスメント) 分析

ナチュラルステップ (スウェーデンの環境教育機関) が定義した分析手法です。ライフサイクル全体における自社製品の環境および社会への影響を分析し、持続可能な製品を作るために用いられます。製品の分析は、節度ある天然資源の使用、汚染物質の適正な処理、生態系への配慮、地球環境への配慮の4原則に基づいています。

追加情報

www.sustaining-beauty.com

このウェブサイトには本報告書に含まれていない追加情報や最新情報が掲載されています。 また、昨年版のサステナビリティ報告書から「Carta Etica (カルタ・エティカ)」まで当社の 刊行物すべてをご覧いただくことができます。



www.isustainbeauty.com



www.bcorporation.net



www.davines.com

[comfort zone]

SKIN SCIENCE SOUL

www.comfortzone.it



 $modern\ plant\ chemistry^{\mathrm{TM}}$

www.skinregimen.com





Certified Corporation

Davines & [comfort zone] Italy

Via Calzolari Don Angelo 55 43126 Parma Italia T: +39 0521 965611 F: +39 0521 292597 www.davines.com www.comfortzone.it

Davines & [comfort zone] North America

50 West 23rd Street, PH New York, NY 10010 United States T: +1 212 924 24 70 F: +1 212 924 22 91 www.davines.com www.comfortzone.it

Davines France

28 Rue des Petites Ecuries 75010 Paris France T: +33 (0)1 4633 2213 www.davines.com

Davines & [comfort zone] United Kingdom

14 Gray's Inn Road Fox Court London WC1X 8HN United Kingdom T: +44 (0)203 3015449 F: +44 (0)207 663 8082 www.davines.com www.comfortzone.it

Davines & [comfort zone] Netherlands

Boreelplein 67/68/69 7411 EH Deventer Nederland T: +31 (0)570 745170 www.davines.nl www.comfortzone.it

Davines Mexico

Av Colonia del Valle 420 Col del Valle Centro 03100, Ciudad de Mexico Mexico T: +52 55 5280 1850 F: +52 55 5280 1108 www.davines.com

[comfort zone] Hong Kong

5/F Yue's house 306 Des Voeux Road Central Hong Kong www.comfortzone.it





comfortzone.jp

この印刷物は再生紙を使用しています

この冊子は再生紙で作成されたもので、世界の森林保全のために責任をもってリサイクルされた資源を利用していることが評価され、森林管理協議会から FSC 認証を受けています。使用しているインクは植物由来です。

